

清流 復活へ 大和川の挑戦

「日本一汚い川」からの脱却

9月10日は「下水道の日」。県の四つの浄化センターはこの日に合わせ、催され、普段目にしない下水道の大切さを体験できる貴重な機会となりその4カ所で開催される。

施設見学や催し多彩

て9月5日から10日まで。イベントは浄化センター（大和郡山市額田部南町）、第2浄化センター（広陵町萱野）、宇陀川浄化センター（宇陀市榛原）は施設見学会や下水道啓発ビデオの上映、啓発物品の配布が行われるほか、週末には金魚すくいイベントも増え、昨年以上の賑わいとなりそう

催し（すべて無料）があり、「遊んで学べる」と家族連れに人気だ。一年は、延べ来場者が436人だったのが、昨年は904人と2倍以上に増えた。

今年、十津川温泉足湯コーナー（6日・浄化センター）、パネルシアター（同）、ミニ列車乗

「下水道の日」の取り組み



「下水道の日」に合わせて楽しいイベントが数多く開かれる（昨年のイベントから）

だ。国土交通省がまとめた平成20年の一級河川水質調査によると、大和川は最下位を脱出してワースト2位になったが、まだまだきれいな川にはほど遠い。今後の水質改善に果たす下水道の役割は大

県下水道課、県流域下水道センターは「下水道の日」を通じて、下水道の普及、促進の意義を多くの人に伝えたい。特に次の世代を担う子どもたちが、下水道に興味を持ってくれる場になってほしい」と話している。

イベントについての問い合わせは、各浄化センターへ。浄化センター、電0743(56)2830。第2浄化センター、電0745(56)3400。宇陀川浄化センター、電0745(82)5725。吉野川浄化センター、電0747(2)8631。

毎月1回、下旬に掲載

当記事を奈良新聞社に無断転載することを禁じます。